

## 小型客船フォーラム

—小型客船による舟運の発展とその安全性を考える—



### 【概要】

小型客船による舟運・クルーズが、大阪・関西万博や IR 誘致に伴って、大阪湾・瀬戸内海周辺で注目を集めています。本フォーラムでは、舟運事業の振興と、小型客船の安全性にスポットをあてて議論を展開します。

舟運事業の振興では、これまでの瀬戸内海における事業の展開と、さらなる発展に向けての様々な問題点を明らかにして、その未来像を探ります。

また、舟運事業に用いられる小型客船では、激しい船体運動による乗客の怪我、荒天時の沈没等海難も少なくなく、その安全性の確保が重要となります。知床での海難を契機に、19 総トン以下の客船にも、一区画浸水計算が義務付けられる方向にあります。

【日時】 2023 年 10 月 31 日(火曜日) 13:00~17:00

【場所】 大阪公立大学難波サテライト I-site なんば C-2・C-3 会議室

大阪市浪速区敷津東 2-1-41 南海本社ビル 2 階(I-site なんば専用入口からお入りください)

南海・地下鉄「なんば」駅から南に 800m、地下鉄「大国町」駅から東に 450m

【参加費】 8,000 円 (会場・オンライン共)

### ●参加申し込み●

日本クルーズ&フェリー学会事務局へメールで、氏名と所属、会場参加もしくはオンライン参加の別を記載の上、お申し込みください。[メールアドレスは cruise-ferry@cruise-ferry.main.jp](mailto:cruise-ferry@cruise-ferry.main.jp)

参加費の振り込み:下記何れかの口座にお振込みをお願いします。※振込手数料は自己負担にてお願いします

紀陽銀行 中もず支店

普通 476738

日本クルーズ&フェリー学会

郵便振替

口座記号番号 00930-8-322203

口座名称 日本クルーズ&フェリー学

### 【フォーラム・スケジュール】

#### 1. パネルディスカッション(2 時間)

大阪湾および瀬戸内海における舟運・ミニクルーズの振興プロジェクトから、その未来を読む

##### ■ミニ基調講演(10 分づつ)

・瀬戸内アイランドホッピング構想 大阪府立大学名誉教授 池田 良穂

・「シースピカ」「シーパセオ」のクルーズ実績と瀬戸内海クルーズのしくみ作り

瀬戸内海汽船 仁田 一郎社長

・大阪・瀬戸内をつなぐマリタイムルートの構築 (関西経済同友会広域観光推進委員会)

委員長スタッフ (株)竹中工務店 栗原 智一

・小型船を活用した大阪湾、播磨灘における海事観光に係る取組み

神戸運輸監理部海事振興部長 馬谷 正樹

・JAPIC 瀬戸内クルーズネットワーク構想

JAPIC 国土・未来プロジェクト研究会瀬戸内クルーズ WG リーダー 越智 修 (五洋建設(株)顧問)

##### ■舟運・クルーズ振興に関するディスカッション(1 時間)

#### 2. 小型客船の安全性(2 時間)

・荒天時小型高速旅客船での旅客傷害事故の紹介 大阪公立大学教授 片山 徹

・知床における小型旅客船 KAZU1 海難と安全対策

大阪大学名誉教授 梅田直哉

国土交通省海事局安全政策課 課長補佐 森吉直樹

・小型船用浸水時乾舷・復原性計算プログラムの開発 大阪公立大学教授 片山 徹